

会 議 録		令和 7 年 2 月 26 日 作成	令和10年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府北警察署協議会（令和 6 年度第 4 回）		
開催日	令和 7 年 2 月 21 日（金曜日）		
時 間	午後 3 時 30 分から午後 5 時 15 分までの間（ 105 分）		
場 所	京都府北警察署 署長室		
出席者	石上会長、岡本副会長、プレストン副会長、作田委員、野中委員、小西委員、古荘委員、太田委員、有川委員、糸井委員、加田委員 計11人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、警備課長、交通係長、広聴相談係長 計10人		
諮 問 事 項	回顧と展望について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長 2 署長挨拶 3 協議 司会 会長 (1) 諮問事項説明 回顧と展望について～会計課長、警務課長及び生活安全課長 【警察】 当署の拾得が多いのは、市バス車内での落とし物が北大路案内所に届けられることになるため、拾得の件数が多くなる。特に、外国人の遺失者が多いと返還にも時間を要する。 【委員】 金閣寺交番に行ったところ、外国人がクレジットカードを落としたと来所していた。交番員は翻訳ソフトを活用して対応していた。同時に近くのラーメン店からも外国人の方の拾得物を届けに来ていた。インバウンドにより、外国人の方の落とし物が多いと感じた。 【委員】 アメリカでは紛失すれば戻ってこないのが当たり前である。私も東京でうっかり財布を電車に忘れたことがあったが見付かった。しかも丁寧に返還の手続きまで教えてくれた。財布が手元に戻った上、丁寧に対応してもらったことに感謝している。 【委員】 自転車盗の被害者は学生が多いと聞いたが、盗るのも学生が多いのか。 【警察】 大学内で盗られ、別の大学生が利用していたというケースもあったが、大学生による犯行が多いという認識はない。 【警察】 盗られた自転車は足代わりに利用されているケースが多い。		

会 議
内 容

【委員】遺失物と拾得物では、拾得物の件数の方が多いという説明だったが、これは外国人の方が戻ってこないという考えを前提に遺失の届出をしないからか。

【警察】診察券などの価値が低いと考えられるものは遺失の届出がされていないのかもしれない。拾った方は大事なものと思い届けるが、落とした方は届けられないだろうと思っているかもしれない。

【委員】以前ポイントカードを落とし、北署から届いていると連絡を受けて初めて落としていたことに気が付いたことがあった。大切なものであると拾得者は思ってくれていた。また、タクシーの中で財布を忘れ、見付かったと連絡を受けたことがある。カード類などはあったが、現金のみ無くなっており、届けてくれた方を疑うわけにもいかず、複雑な気持ちであった。

【委員】先日、カードケースを拾い、中にはマイナンバーカードなどが入っており、交番に届けた。しかし、夜中に鍵を拾った時には、少しさびている状況であったが交番に届け出た。こういう場合はどうすればいいかと考えてしまう。

【警察】鍵を返すときは、鍵の番号が分かればいいが、分からない場合、本人確認が難しく、特に家の鍵を返すときは確実に本人のものであることを確認する必要がある。

【委員】警察官の採用の希望者が減っているとの数字が出ていたが、京都府警察全体のことか。

【警察】そのとおりである。

【委員】北署での警察官採用の希望者数はどうか。

【警察】当署で実施しているはんなり相談やパトカー乗車体験などはおおむね好評であり、熱心な方は複数の警察署での催しに参加しているようだが、優秀な人材が京都府警察に入ってくれればと思っている。

【委員】警察官になったら、みんな最初は交番で勤務するのか。

【警察】警察学校を卒業した後、最初は交番で勤務する。いい人がおられたら推薦をお願いしたい。

【委員】京都府警察本部の人が学校に来て、採用に関する説明をしてくれた。また、警視庁では受験しやすい制度が設定されていることに感心した。

【委員】優秀な人材とはどのような人をいうのか。

【警察】単なる就職ではなく、誰かのために何かをしたいという思いを抱き、皆さんが日々平穏な生活を送れるよう、いざ何かあった時には頼りになる人物である。しかし、府民は警察官を選ぶことができず、その時対応した警察官に対する評価が京都府警察の評価となり、「誰かのために」という意識を持てる人物であることが第一条件である。

【警察】奉仕の精神と正義の実現の意識を持って、職務を遂行する人が警察官として優秀であるとする。

【委員】北署の警察官が作成した、「国際電話に出ない」というポスターをいただいた。外に貼った方が目立つと思い、家の外に貼っている。私のところにも国際電話がかかってきた。外に貼ると皆さんが見てくれるので、アピールした

会 議
内 容

いものは外に貼っている。被害防止の役に立てればと思っており、このようなアピールの仕方は必要だと思う。

【委員】採用については、少子高齢化、働き手不足の影響で市バスの運転手が足りず、減便するということになった。市役所も同じ状況である。これが警察に起こるとすればまずいことになると思う。公共人材を確保していただくことが必要なフェーズになっているのかと思う。

【警察】全国警察でも同じ状況である。10年後、現在と同じように運用できるかという点と難しいかもしれない。

(2) 諮問事項説明

回顧と展望について～地域課長、刑事課長、交通係長及び警備課長

【委員】大学で警察の方に薬物乱用防止の話をしてもらっている。大麻利用者の大学生と若年層などの割合はどうか。

【警察】年齢別の統計は出していないので回答はできない。大麻の使用は圧倒的に増えている。また中高年層の利用者も増えている。若い頃から使用している状況なのではないかと考えられ、大麻リキッドは若い人が使用している傾向がある。タバコのような感覚で使用し、広まっているのだと思う。また、リキッドは手に入りやすい面がある。

【委員】覚せい剤の検挙について、例えば北区に住んでいる若者が下京区で吸っていて検挙された場合はどこでカウントされるのか。

【警察】検挙した警察署でカウントされる。先ほどの検挙数の説明は、北署で検挙した件数・人数であり、北区居住者の使用状況ではない。年齢層については調べてみたいと思う。

【委員】12月頃、マンションにたくさんの人が出入りするという話があり、のちに大麻の取締りをされたということがあった。北区は静かなところだと思っていたが、そうでもなくなってきたのかと感じた。

【警察】大麻などの取引の多くは通信アプリで取引されるため、販売者の特定が難しく、国籍を問わず、いろいろなケースがあるが、暴力団が関与している場合が多く認められる。

【委員】自転車の罰則強化がされたが、飲酒運転やながらスマホの取締り状況はどうか。

【警察】今は自転車の酒気帯び運転でも違反になる。府内では何件か検挙があったと聞いているが、当署での検挙はない。今後も啓発を続けていきたい。

【警察】1年間皆さんのお話を伺い、当署としては「地域との更なる連携強化」を進めていきたい。大学や行政との連携についてはこれからもお願いするが、地域自治会などともっと連携を強めることで、防犯シールドで地域を守れるようにしていきたい。これからの1年間はこの方針で進めていきたいと思う。

4 事務連絡

令和7年度第1回北警察署協議会は、令和7年6月1日以降に実施予定である。

以上

第4回京都府北警察署協議会の開催状況

